

地域の芽を育てよう

～未来にむけて～

これからますます少子高齢化がすすみ、生活様式も変化するなか、

地域のつながりの希薄化が懸念されます。

いざとなった時に助け合えるかは平常時からの顔の見える関係が

大きく関わってきます。

皆さんの暮らす地域はいかがでしょう？

ふれあいサロンや地域の話し合いの場にご興味を持った方は

社会福祉協議会までぜひご連絡ください！

生活支援体制整備事業

皆さんは、5年10年後そして将来に向けて、自分たちのまちをどのような地域にしたいですか？少子高齢化、人口減少により、これからの将来の担い手不足が深刻となっていきます。公的なサービスや制度だけでは対応するのが困難になる時代がきます。ひとり暮らしの方や高齢者世帯、そして認知症の方が増えているなかで、**誰もが住みなれた地域で自分らしく生きがいを持って暮らし続けるためには、地域の支え合いが必要です。**

笠間市社会福祉協議会では、行政と地域の皆さまとともに、「**地域の話し合いの場（協議体）**」として**地域の情報を共有し、人とのつながりをつくり、定期的に集まり話し合いをする活動**を推進しています。

これらの活動が助け合うしくみづくりになることを目標にしています。

社会福祉法人 笠間市社会福祉協議会

本 所	笠間市美原3-2-11	TEL.0296-77-0730
笠間支所	笠間市石井717	TEL.0296-73-0084
岩間支所	笠間市下郷5139-1	TEL.0299-45-7889



地域が主役です



これから買い物が不安だね
移動が課題です

大池田地区協議体

これからどんな地域に
していきたい？

大池田地区協議体

和気あいあいと
地域のために

岩間地区「和気あいあいの会」

コミュニケーションが
課題だね

箱田地区「友びきの会」

同窓会のような
雰囲気です

話し合いの場
(協議体)

まずはお互いを知る
ことから始めよう

こち
東地区「東風の会」

話し合い

- ①情報共有
- ②地域の宝物探し
- ③できること探し

気づき

- ①新たなつながり
- ②協力してくれる仲間
- ③地域の課題

活動

- たとえば…
- ①声かけ、見守り
 - ②居場所(サロン等)
 - ③社会参加

支部社協
ボランティア

ふれあいサロン

民生委員

第2層協議体(身近な生活圏域)

施設職員
地域企業

市職員

社協職員

- 地域のニーズの把握(地域の強みや今後取り組む内容の検討)
- 情報交換、情報共有の場(関係者のネットワークや連携体制づくり)
- その地域にあった支え合いの仕組みづくり

第1層協議体(市全体)

- 市全域の話し合いの場
- 市全域を対象とした助け合い活動の創出や拡大

重曹的な仕組みに
なっています



支部社協

住民主体で、地域が抱えるさまざまな地域課題を住民同士の話し合いや活動を通し、解決していく小地域の地域福祉活動です。笠間市内に、15支部12地区社協があり、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指しています。



ふれあいサロン

地域の人々が「気軽に、無理なく、楽しく、自由に」誰でも参加できる場所です。また自然と支えあいが生まれる場所でもあります。笠間市内には、24サロンあり地域の皆さんの大切なコミュニケーションの場になっています。



民生委員

地域の身近な相談相手となり支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役です。